

福山市老人大学 2016年度（第46期）

ボランティア育成講座閉校式での学長挨拶

2017年2月9日 午前11時30分

私は、昨年7月の開講式で次のようにご挨拶申しあげました。

この講座は今年で9回目を迎えました。この講座を受講された老生の方が、ボランティアクラブを立ち上げ、活動を積み重ねてくださっています。

まずは高齢者施設を訪問し、傾聴や楽しい演技の披露などで、入居者に喜んでいただいています。

また、多くの学生の協力を得て、リングプルとペットボトルのキャップの収集を行い、車いすと開発途上国の子ども達のワクチンの購入資金として使われています。

さらに、熊本地震災害の復旧活動、福山の大雨災害の泥かき作業に参加された方もおられます。

そして、それぞれの学生が、各地域で様々なボランティア活動に取り組んでいただいています。

このようにこの講座は、「学習から行動へ」との所期の目的を相当程度達成したのではと受け止めています。

我々は、これから先、ボランティアのお世話になっていく年齢にあります。しかし、ボランティアの出来る体力のある今は、相互扶助の精神を行動に移せる幸せを共有していきたいと存じます。

ボランティアの心と技を改めて学習していただき、活動の充実に生かしていただきますことを願います。

今年も全19回の講座で様々なボランティア活動について、学んでいただきました。

また、ボランティアクラブに対しては、高齢者福祉施設や病院から、訪問依頼がもたらされるようになってきました。

そして、入居者や患者さん達も自分たちで出し物を用意して演じられたり、訪問者にお礼の花束を下さったりという交流が出来てきています。活動が、地についてきたことを嬉しく思っています。

このようなボランティア活動が、さらに充実・発展していくことをご期待申しあげ、修了式にあたってのご挨拶といたします。